

ご霊水と共に

発行 法華寺
No.18
2022.7
河南町加納 247
☎0721933023

まいてら法華寺

寄り添いの寺 法華寺

八月 施餓鬼法要に向けて

昨年の施餓鬼法要は、檀信徒様の参集なしで、寺院僧侶・徒弟のみで執り行いました。その折は、例年お会いする檀信徒の方々はどうしておられるのか案じつつ、共に供養できないことを寂しく感じました。

今年は是非とも皆様とともに、亡き方々、ご先祖様を供養したいと思っております。人が幸せに暮らすためには「自分を超えたもの（神仏・ご先祖様・たましい・何か偉大な存在）」とつながってることが大切だと言われています。

何百年も続く施餓鬼法要では、それらの存在を意識する法要でもあると考えられます。是非、ご参集いただき共にお題目をお唱えしたいと思っております。



※法要は、第一座目は午前九時時から、午後四時の第七座目まで、予約制となっております。ご希望折り合いのハガキに記載された指定時間を確認いただきお参り下さい。また初めて参加希望される等、気がかりな方は、気軽にお寺にお尋ねください。

駐車場は変更になります

※お車の方は今年より「村東の重機置き場」が駐車場です。施餓鬼法要のご案内プリントの地図をご参照ください。当日は、警備員の誘導もごさいます。

※駐車場から、例年同様のタクシー送迎があります。また、金剛バスご利用の方は、平石線北加納バス停前から、巡回送迎タクシーをご利用してお寺にお上がりください。



送迎タクシーご利用下さい

「ご霊水」水槽、櫓の修繕

やぐら

ご霊水の受け口の水槽は、石造りで「天保三年」の銘が刻まれております。百九十年前設置されたものですが、先月漏れがわかり修理しました。また、四十年前に新改築した櫓も水に浸かっている土台部分が劣化してきたため、部分的な修繕を行いました。背板も替え、見違えるほど立派に修復しました。

山門、本堂床下の防腐工事

木造建築は、手入れをすれば数百年の耐久性があります。山門は三百年、本堂は百二十年前の建築ですが、この五月に防腐・防虫処理を施しました。特に本堂床下は見えない部分ですが、業者さんによると、処理をして、雨水対策をきちんとすればまだまだ百年、二百年は大丈夫とのことでした。



防腐処理後の山門



修築したご霊水櫓